

2008. 1

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

Vol.32

ひ お き

主な記事

新年のあいさつ	2
日置市成人式	4
税務課から税の申告について	6
日置市子ども支援センター	8
高齢者医療制度の見直しについて	9
表彰	10
まちの話題	11
市民の広場	22





日置市長 宮路 高光

市民と共生・協働 ひかり輝く日置市を目指したまちづくり

議会新体制 市勢伸展と市民福祉向上のために



日置市議会議員 畠中 實弘

新年あけましておめでとうございませう。市民の皆様には、ご家族おそろいで、夢と希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと心から喜び申し上げます。また、日ごろから市政各般にわたり、温かいご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、少子高齢化の着実な進行や地方分権の進展など、本市を取り巻く社会経済情勢は大きく変化しております。また、地方交付税や補助金の見直しなど、全国的に地方自治体を取り巻く環境は、依然厳しさをましてありますが、本市におきましても例外ではなく、財政の健全化が目下最大の行政課題になっており、引き続き、行政改革の推進に取り組んでいかなければなりません。まさに時代の転換期を迎えており、この潮流に乗り遅れることなく、地域の特性を生かしたまちづくりを実践していくことが、市長の私に課せられた責務と考えております。

これらを踏まえながら、「日置市総合計画」に基づき、将来にわたって弾力的で足腰の強い健全な財政構造を構築するためには、これまで以上に、構造改革と意識改革の方向性を明確にし、更なる行財政改革に取り組む必要があります。福祉、保健医療、産業、教育など、それぞれの分野においても課題は山積しておりますが、これら一つひとつの課題を、市民をはじめ多くの関係者の皆様のご支援とご協力を賜り、解決してまいりたいと考えます。今後とも、「市民と共生・協働」を市政運営の基本姿勢として、ひかり輝く日置市を目指したまちづくりに全力で取り組んでまいります。市民の皆様の一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、本年が皆様にとりまして幸多き良い年となりますようお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。

平成の20年 新年のあいさつ



明けましておめでとうございませう。皆様方には輝かしい新年を迎えることと心からお喜び申し上げます。旧年中は市議会に対し多大なご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。市議会は、昨年六月に議会構成替えを行い新たな体制で後半の二年が始まりました。私も議員各位の推挙によりまして日置市二代目の議長に就任いたしました。市勢の伸展と市民の福祉の向上のため全力を傾けて取り組んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと国内では相変わらずいじめや虐待、子供を巻き込んだ殺人・自殺、銃による殺人、食の偽装など安全・安心がおびやかされる事件等が発生しました。政治も、夏の参議院選挙の与党惨敗を受けて安倍政権から福田政権へ交代がなされましたが政局は予断を許さない状況下にあります。

日置市においては、台風による大きな災害等はなかったものの、梅雨時期の集中豪雨により吹上・日吉地域において道路や河川に大きな被害が発生し、早期水稲においては長雨と日照不足により収量が落ち込み価格も暴落いたしました。また、昨年後半からの原油高騰により市民生活にも影響が出ており対策が必要となっております。二〇〇八年は希望の持てる明るい年であってほしいと願わずにはいられません。幸い市内二十六の地区公民館では二十一年度からの地区の振興計画作りが始まります。少子高齢化が進む中であって、みんなの知恵で魅力ある暮らしやすい地域づくりをしていくことは大変すばらしいことであり、是非とも多くの市民の皆さんがこの計画作りに参画してほしいと思っております。本年が皆様方にとりまして実り多い年になりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

平成19年 市の主な出来事

物加工センター落成式(27日)

1月
初日とともに走ろう(1日)▼ニヨイヤージュギング2007(1日)▼吹上青松太鼓新春初打ち(1日)▼市成人式(3日)▼市消防出初式(7日)▼ゆのもと保育所落成式(24日)▼第54回南九州美術展(26日)▼市ミ科学の祭典(28日)

4月
湯之元馬頭観音馬踊り(15日)▼吹上青松ジュギング大会(15日)▼「農地・水・環境保全向上対策」協定調印式(16日)▼第35回彼岸相撲大会(21日)▼東市来総合運動公園内弓道場落成式(22日)

2月
みんなで登り窯を焚こう(11日)▼第54回鹿兒島県下二周市郡対抗駅伝競走大会日置市通過(22日)

5月
第15回ふるさと港祭り(3日)▼萩・伊勢神社奉納棒踊り(3日)▼ウミガメ保護バトル開始式(19日)▼チェスト小鶴ドーム村田兆治(元ロツテ投手)野球教室(20日)▼市荒茶品評会(23日)▼第2回きらめく農村・漁村祭(27日)

3月
市生涯学習大会(3日)▼稲荷神社お田植え祭(3日)▼上市来水源地通水式(6日)▼吹上温泉ウオーキング大会(14日)▼チェスト小鶴ドーム杯エニス大会(18日)▼たじまどん(18日)▼船こぎ祭り(20日)▼もちひっぱり(21日)▼皆田小開校式(25日)▼飯牟礼農産

6月
市内3郵便局住民票等取扱開始式(1日)▼せべとべ(3日)▼ファクトリーヒロ、エービーフーズ立地協定調印式(15日)



▲皆田小開校式



▲チェスト小鶴ドーム杯 村田兆治(元ロツテ投手)野球教室

7月
江口浜ロングボードクラシック2007(1日)▼第20回市屋内消火栓競技大会(10日)▼第22回B&G会長杯校区対抗水泳大会(16日)▼吹上浜クリン作戦(21・22日)▼市小学校水泳記録会(27日)▼第19回永吉筏下り(28日)▼湯之元温泉とろう祭り(28日)▼吹上かめの子サッカー県大会(28・29日)

10月
日吉秋祭り花火大会(6日)▼第5回山神の響炎(7日)▼妙円寺詣り大行進(10日)▼妙音十二楽演奏会(12日)▼日吉豊年相撲大会(14日)▼吹上秋祭り2007(21日)▼妙円寺詣りフェスタ(27・28日)▼妙円寺詣り行事大会(28日)▼ねんりんピック鹿兒島2008交流リハーサル大会(27・28日)

8月
国際サンドアートフェスティバル2007(12日)▼北山の火振り(15日)▼鹿兒島ケース(株)立地協定調印式(17日)▼市秋季畜産共進会(24日)▼伊作太鼓踊奉納(28日)



▲ねんりんピック2008交流リハーサル大会(ウォークグリーン)



▲伊作太鼓踊奉納

11月
第22回美山窯元祭り(2・3・4日)▼第30回吹上地域合同金婚式(16日)▼第15回深固院祭り(18日)▼伊作流騎馬奉納(23日)▼高山ふるさと秋まつり(25日)

9月
市総合防災訓練(2日)▼チェスト小鶴ドーム杯フットサル大会(8日)▼敬老訪問(14日)▼吹上青松弓道大会(23日)

12月
第13回まるごと伊集院フェスティバル(8・9日)▼第25回いじゅういん梅マラソンジュギング大会(9日)



人生の晴れ舞台を影で支えた実行委員

四地域から選出された新成人の代表者二十六人で構成する実行委員会（実行委員長 笠野和樹さん）。

実行委員会のメンバーは、個々の役割分担や記念品選定などの打ち合わせから式典のリハーサルや資料づくりなどを行い、華やかな成人式を影で支えました。



平成20年新成人

地域	男性	女性	合計
東市来	42人	65人	107人
伊集院	113人	147人	260人
日吉	26人	33人	59人
吹上	50人	46人	96人
日置市	231人	291人	522人

(住民基本台帳登録者数)

決意新たに



▲式辞を述べる宮路市長

んでいられることを願っています。これまで皆さんを慈しみ、育てられたご両親と同様に日置市を未来にひかり輝く故郷とするため、若き情熱と行動力を発揮し、活躍することを期待しています」と激励、市議会や各種団体の代表者、恩師、保護者らも新成人の門出を祝いました。

これに呼んで四地域から選出された実行委員の松山佳世さん、東はるかさん、馬場恵里さん、春成友貴さんが抱負を述べ（要旨別掲）、正留菜依さんが「私たち新成人一同が、決意新たに成人式を迎えられました。これまで私たちが支え、愛情深く育ててくれた両親と家族、そして、いつも温かい目で見守ってくださった地域の皆様に感謝したいと思います。私たちは、まだまだ成長の段階であり、未熟ではありますが、これからも、おごることなく、この一歩一歩精進していきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻をよろしくお願いします」



▲謝辞を述べる正留菜依さん

と新成人を代表して謝辞を述べ、決意を新たにしました。

人生の節目ともいえる成人式は、大人の仲間入りを祝福されるとともに、社会人としての責任を自覚する機会。二十歳という節目を迎えた新成人は、これまでの成長を支えてくれた家族や恩師、地域への感謝の気持ちを忘れず、これからの時代を担う社会人として成長して欲しいと思います。

一月三日、伊集院文化会館で日置市成人式が行われました。今年成人式を迎えたのは、昭和六十二年四月二日から昭和六十三年四月二日までに生まれた新成人で、五百二十二人ととなりました。

当日、吹上青松太鼓保存振興会による太鼓演奏で幕を開けた式典。振袖やスーツに身を包んだ新成人は、少し緊張した面持ちで式に臨んでいました。

式では、宮路市長が「皆さんは法律的にも社会的にも貴重な権利と義務を得る成人となりました。これからは、まさに大人として尊重される一方、厳しい社会の荒波を自らの力で乗り越えていかなければなりません。社会がどのように変化しようと、時に流されず、人に流されず、自分の将来像をしっかりイメージして、ゆるぎない信念と決意で、人生を切り開き、力強く歩



吹上地域実行委員

春成 友貴さん

私は家族や地域の支え、恩師の温かいご指導のもと何事もなく生活できました。中学・高校では、友人とともに勉学や部活動に励み、大学ではボランティア活動で奉仕の精神を学びました。これまでの経験は決して明るいものばかりではありませんでしたが、一つ一つが私の成長の糧となっています。家族や周りの方々への感謝を忘れず、限られた時間を有効に一生懸命生きる決意を誓いたいと思います。



日吉地域実行委員

馬場 恵里さん

現在は養護教諭を目指しています。いじめや登校拒否などが問題となっている今、私は子どもの立場や目線で物事を考えることのできる養護教諭になりたいと思っています。昨年は介護実習や養護実習を通して、専門的なことや働くことの大変さを学び、今年4月からは社会人となります。仕事をする中で困難にぶつかることがあると思いますが、その困難をばねに一つずつ成長していきたいと思っています。



伊集院地域実行委員

東 はるかさん

私は、高校を卒業して就職の道を選びました。夢を持って入社したわけではないけど、就職してから「夢」を見つけることができ、自分の目標に向けて努力する意欲が湧いてきました。今後は、物事を冷静に判断し、自分の行動に責任が持てる成人として、輝かしい未来を担う社会人として、「夢」に挑戦し続けながら、進むべき道を切り開いていきたいと思っています。



東市来地域実行委員

松山 佳世さん

私は人と会話する事が苦手でしたが、学校生活やアルバイトを通して人との会話の大切さや楽しさを学ぶことができました。現在、私は大学で言語について学んでいます。卒業後は多くの人と出会い、交流を持てる仕事に就きたいと考えています。このような目標を持つたのは、今まで出会ったすべての人と、大学進学を許し、今も支えてくれている両親のおかげだと感じています。



新成人の抱負

平成20年度市県民税申告相談日程表

地域	月日	曜日	午前				午後			
			地域	場所(時間)	地域	場所(時間)	地域	場所(時間)	地域	場所(時間)
日吉地域	2月13日	水	二湯・山田上 山田・山田下	山田公民館 (9:00~11:00)	草見・笠ヶ野 毘沙門	笠ヶ野公民館 (13:30~15:30)	中央	福祉センター (9:00~11:00)	元湯・向湯田	福祉センター (13:30~15:00)
	2月14日	木	下原・古の山 今別府 浜の丸・日新 並松・北原	日新公民館 (9:00~11:00)	遠矢ヶ原 草東・草西 川口・住吉	草原公民館 (13:30~15:30)	桑木野	高山地区公民館 (9:00~10:00)	尾木場	尾木場公民館 (10:15~11:00)
東市来地域	2月15日	金	古里東・古里 中牟礼・中牟礼西 上の馬場・堀込 諏訪・鶴狩	諏訪公民館 (9:00~11:00)	新橋・柿の谷 狩谷・旭東 旭西・松ヶ尾 久保園・宮下・八幡	八幡公民館 (13:30~15:30)	坂元	伊作地区公民館 (9:00~11:30)	上中之里	伊作地区公民館 (13:30~16:00)
	2月18日	月	城の下・中原 寺下・榎園 出来場・西 榎園団地 ウッドタウン日吉	日吉中央公民館 (2階大ホール) (9:00~11:00)	伊木・榎木 日置館・帆北 帆西・帆南 帆東・日置団地	日吉中央公民館 (2階大ホール) (13:30~15:30)	緑ヶ丘・窪田	伊作地区公民館 (9:00~11:30)	北湯之元・南湯之元	南湯之元自治公民館 (13:30~16:00)
吹上地域	2月19日	火	吉利麓・新町 向江・尾之上 志賀・内門・熊須	中区公民館 (9:00~11:00)	片町・池上 道上・小園 前屋敷・冷水・松山	南区公民館 (13:30~15:30)	宮坂・南宮内	伊作地区公民館 (9:00~11:30)	東宮内・西宮内	伊作地区公民館 (13:30~16:00)
	2月20日	水	天司・吉野 西山・原口 白井・鬼丸	北区公民館 (9:00~11:00)	田平・小吹 岩井田・諸正 橋木	扇尾公民館 (13:30~15:30)	おろ口	おろ口自治公民館 (9:00~9:50)	下田尻	中田尻自治公民館 (13:30~16:00)
伊集院地域	2月21日	木	ふもと・多宝寺 小牧	伊作地区公民館 (9:00~11:30)	小野浜 小野馬場 小野	小野馬場自治公民館 (13:30~16:00)	瀬谷	瀬谷自治公民館 (10:00~10:50)	中田尻	中田尻自治公民館 (13:30~16:00)
	2月22日	金	坂元	伊作地区公民館 (9:00~11:30)	上中之里	伊作地区公民館 (13:30~16:00)	助代	助代自治公民館 (11:00~11:40)	上和田	和田地区公民館 (13:30~16:00)
東市来地域	2月23日	土	東本町・西本町	伊作地区公民館 (9:00~11:30)	下中之里	伊作地区公民館 (13:30~16:00)	おろ岡	和田地区公民館 (9:00~11:30)	中和田	和田地区公民館 (13:30~16:00)
	2月24日	月	藤元	藤元自治公民館 (9:30~10:30)	上与倉	上与倉自治公民館 (13:10~14:30)	入来浜・今田	吹上地区公民館 (9:00~11:30)	入来	吹上地区公民館 (13:30~16:00)
伊集院地域	2月25日	月	赤仁田	赤仁田自治公民館 (10:50~11:40)	田之尻	田之尻自治公民館 (15:40~16:30)	小永吉	小永吉自治公民館 (9:00~10:00)	天昌寺・浜田後 浜田中	浜田後自治公民館 (13:30~16:00)
	2月26日	火	おろ口	おろ口自治公民館 (9:00~9:50)	下田尻	中田尻自治公民館 (13:30~16:00)	原園・上草田	原園自治公民館 (10:10~11:00)	新川原・永吉中和田 川久保	永吉地区公民館 (13:30~16:00)
東市来地域	2月27日	水	赤仁田	赤仁田自治公民館 (10:50~11:40)	永野	永野自治公民館 (15:40~16:30)	中草田・下草田	下草田自治公民館 (9:00~11:30)	梅里下・榎下 梅里・永吉ふもと	永吉地区公民館 (13:30~16:00)
	2月28日	木	おろ口	おろ口自治公民館 (9:00~9:50)	下田尻	中田尻自治公民館 (13:30~16:00)	松下・七呂 鍋谷・印口	永吉5区公民館 (9:00~11:30)	梅里下・榎下 梅里・永吉ふもと	永吉地区公民館 (13:30~16:00)
伊集院地域	2月29日	金	おろ口	おろ口自治公民館 (9:00~9:50)	下田尻	中田尻自治公民館 (13:30~16:00)	坊野下	坊野地区公民館 (9:00~11:30)	高田	高田自治公民館 (13:30~14:00)
	3月3日	月	おろ口	おろ口自治公民館 (9:00~9:50)	下田尻	中田尻自治公民館 (13:30~16:00)	坊野上	坊野地区公民館 (9:00~11:30)	山手	山手自治公民館 (14:20~14:50)
東市来地域	3月4日	火	おろ口	おろ口自治公民館 (9:00~9:50)	下田尻	中田尻自治公民館 (13:30~16:00)	田代野	竜之瀬自治公民館 (9:00~10:00)	柱野	柱野自治公民館 (15:10~15:30)
	3月5日	水	おろ口	おろ口自治公民館 (9:00~9:50)	下田尻	中田尻自治公民館 (13:30~16:00)	竜之瀬	竜之瀬自治公民館 (9:00~10:00)	今木場	今木場自治公民館 (13:10~13:40)
伊集院地域	3月6日	木	おろ口	おろ口自治公民館 (9:00~9:50)	下田尻	中田尻自治公民館 (13:30~16:00)	平鹿倉	平鹿倉地区公民館 (10:20~11:00)	日添	日添自治公民館 (14:00~15:00)
	(土・日を除く) 3月7日から17日まで						観音河内	観音河内自治会長宅 (11:20~11:40)		

※詳細については、班回覧等でお知らせします。

税務課から 税の申告について

税の申告はお忘れなく

◆申告が必要な方

- ・営業、農業、不動産等の給与、公的年金以外の収入がある方。
- ・給与と所得者で勤務先から市へ給与支払報告書が提出されていない方や年末調整をされていない方。
- ・所得のない方で、どなたの扶養親族にもなっていない方。
- ・他に住所がある方の扶養親族になっている方。
- ・遺族、障害年金などの非課税の年金を受給している方。

◆申告する必要がない方

- ・給与と所得のみで年末調整をした方。
- ・所得税の確定申告をする方。

◆申告に持参するもの

- ・年金収入のみの方で収入が、百四十八万円以下の方(ただし、六十五歳以上の方)。
- ・印鑑。
- ・所得額算出に必要な資料。
- ・給与と所得の源泉徴収票、公的年金の源泉徴収票(ハガキ)。
- ・営業、農業、不動産等の収入額や販売額および必要経費など収支がわかる帳簿や領収書等(農業所得についても収支計算が原則です)。
- ・控除額算出に必要な資料
- ・生命保険料、共済掛金等の支払証明書、社会保険料の領収書または支払額がわかる書類、障害者控除を受けられる方は、

所得税の確定申告は税務署へ

平成十九年分の確定申告が二月十八日(月)から税務署で始まります。
申告期限は三月十七日ですが、期限間近になると大変混雑しますので、余裕を持って早めに申告してください。なお、還付申告は二月十八日(月)以前でも提出できますので、早めに申告してください。

【お問い合わせ先】	伊集院税務署	二七三・二五四三
◆所得税等国税関係	伊集院税務署	二七三・二五四三
◆市県民税関係	伊集院税務署	二七三・二五四三
日置市役所	本庁	二七三・二二一一
	日吉支所	二九六・二二一一
	東市来支所	二七四・二二一一
	吹上支所	二九六・二二一一

住宅借入金等特別税額控除の申告について

税源移譲により、所得税が減額となり、控除できる住宅ローン控除額が減る場合があります。平成十一年から平成十八年までに入居し、所得税の住宅ローン控除を受けている方で、所得税から控除しきれなかった額がある場合は、翌年度の住民税(所得割)から控除できますので、該当する方は下記により申告してください。

対象地域	日程	場所
東市来地域	2/4(月)~2/5(火)	東市来保健センター
吹上地域	2/4(月)~2/5(火)	伊作地区公民館
伊集院地域	2/6(水)~2/7(木)	日置市中央公民館大会議室
日吉地域	2/8(金)	日吉中央公民館2階ホール

※相談時間は午前9時~12時、午後1時~午後4時です。
※各会場とも大変混雑しますので、時間には余裕を持っておいでください。

高齢者医療制度の見直しについて

平成19年10月「与党高齢者医療制度に関するプロジェクトチーム」において、高齢者医療について以下のとおり取りまとめられ、政府としても実施することとされましたので、その内容をお知らせします。なお、今後正式に内容が固まった段階で改めてお知らせします。

1. 70～74歳の方（注1）の窓口負担について

平成20年4月から平成21年3月までの一年間窓口負担が1割に据え置かれます。

- （注1）既に3割負担を頂いている方、後期高齢者医療制度の対象となる一定障害を受けた方は除きます。
- （注2）昨年の制度改正では、70～74歳の方の窓口負担については、平成20年4月から2割負担に見直されることとされていたものを据え置くものです。

2. 後期高齢者医療制度における75歳以上の被扶養者の保険料について

平成20年4月から9月までの6カ月間は無料となり、平成20年10月から平成21年3月までの6カ月間は、頭割保険料額（被保険者均等割）が9割軽減された額となります。

（対象者）

75歳以上の方（注1）で、後期高齢者医療の被保険者になる日の前日（平成20年3月31日または75歳の誕生日の前日）において被用者保険（注2）の被扶養者となっている方

- （注1）65～74歳で一定の障害認定を受けた方を含みます
- （注2）政府管掌健康保険や企業の健康保険、公務員の共済組合等、いわゆる「サラリーマン」の健康保険であり、国民健康保険は該当しません。
- （注3）昨年の制度改正では、被用者保険の被扶養者の方については、後期高齢者医療制度の被保険者となった日の属する月から2年間、被用者均等割を5割軽減することとされていますが、今回の措置はそれに加えて行うものです。

後期高齢者医療保険料の決定について

平成19年12月2日鹿児島県広域連合議会において右記のとおり保険料が決定されました。

1人当たりの年額保険料は、年金収入額から公的年金控除（120万円）と基礎控除（33万円）を引いた額に所得割率8.63%をかけた「所得割額」と「均等割額（45,900円）所得に応じた軽減措置あり」を合計して算出されます。（表参照）

詳しいことは、鹿児島県広域連合事務局（099-206-1397）か下記までお問い合わせください。

後期高齢者医療保険料試算（円）

	年金収入額	120万円 160万円 200万円 208万円 300万円				
		均等割額軽減	7割	7割	2割	なし
単独世帯	均等割額	13,770	13,770	36,720	45,900	45,900
	所得割額	0	6,041	40,561	47,465	126,861
	保険料	年額 13,770 月額 1,148	年額 19,811 月額 1,651	年額 77,281 月額 6,440	年額 93,365 月額 7,780	年額 172,761 月額 14,397
夫婦世帯	年金収入額 （妻課税所得無）	120万円	160万円	180万円	220万円	300万円
	均等割額軽減	7割	7割	5割	なし	なし
	均等割額	27,540	27,540	45,900	73,440	91,800
所得割額	0	6,041	23,301	57,821	126,861	
	保険料	年額 27,540 月額 2,295	年額 33,581 月額 2,798	年額 69,201 月額 5,767	年額 131,261 月額 10,938	年額 218,661 月額 18,222

【お問い合わせ先（担当窓口）】

本庁 健康保険課国保老人保健係（内線 1133） 東市来支所 保健福祉課国保老人保健係（内線 2133）
日吉支所 保健福祉課国保老人保健係（内線 3133） 吹上支所 保健福祉課国保老人保健係（内線 4133）

日置市子ども支援センター

電話
二七三・二三〇九（直通）
二七三・二二二一（内線）一四三七

今回は、支援センターの活動の一部の様子についてお知らせします。



一 いろいろな相談への対応

いろいろなご相談に応じます。主な相談は、子どもの不登校や子育てに関するのですが、これまでに次のような相談もありました。小さなことでも結構です。みなさんもお気軽に相談ください。

＜このような相談もあります＞
・落ち着かない子の指導はどうしたらいいか。
・文字の指導は、いつ頃からどのようにしたらいいか。
・地域の大人として子どもにどう関わればいいのか。
・孫の子育てのあり方について。

二 幼児教育講演会

本年度も夏と冬の年二回各地域を対象に子育てに関する講演会を開催しました。

夏休みの第一回目は、鹿児島市伊敷公民館館長の末弘絃一先生と星ヶ峯幼稚園長箸野守先生に「子どもをどう育てていくか」「未来



▲講演会の様子

べきかを、楽しく感動的にお話いただきまし

た。冬は、保健や福祉に関わる講演を計画しています。これからは地域全体で子育てをする時代です。是非ご参加ください。（参加者数六十六人）

＜参加者の感想より＞
・初めて担任をし、「これをしないと」という思いが強くなり、子どもに声かけなどがきつくなっていた。見直せる機会になった。
・裏から見る目、視点を鍛えたいです。
・男としての生き方、家族のあり方など参考になった。
・新たな発見の視点となり、また明日からの新しい接し方、声のかけ方ができるように思います。

三 指導者のためのカウンセリング講座

十月二回、十一月二回の第四回シリーズで

「指導者のためのカウンセリング講座」を本支援センターのカウンセラーでもある臨床心理士の国重浩一先生を講師としてお願いし、

からの留学生たちとともに」という演題でお話をいただきました。「子どもの心を分かつける」「しつつけるべきはきちつと「しつつけ」等、今の子育てに欠けつあること、父母としていかにあるべきか、



▲国重先生のデモンストレーション

第四回目 不登校問題について、発達障害について少しでも子どもの気持ちができるように、たくさんの方の指導者が集まりました。（延べ参加者数百十一人）

＜参加者の感想より＞
・真剣に相手の話を聞くということの大切さと重みを感じることができた。
・たくさんの方との会話ができてよかった。相手の言いたいことを聞いてあげられるようになった。
・今回の研修は、非常に良かった。幼児期の子どものちにとつて、早期発見、早期療育の体制が整うよう願っています。
・このような機会をまた作って欲しいと思います。すぐ頭を使う研修で難しかったが、その分勉強になる研修会でした。



▲3人組になってカウンセリングの演習

実施しました。第一回目 カウンセリングの基礎と最近の動向
第二回目 カウンセリングのデモンストレーションと導入
第三回目 どんな話を聞いていくのか

十二月二十六日、鹿児島城西高等学校野球グラウンドで、早稲田大学野球部捕手の細山田武史選手（鹿城西卒）が小中学生を対象に野球教室を行いました。細山田選手は、東京六大学野球春季リーグ戦で早稲田を優勝へと導いた選手の人。ポジションは捕手で、首位打者、ベストナインなど大いに活躍したほか、全日本大学野球選手権大会優勝、日米大学野球選手権大会優勝など数々の大会で実績を上げています。

野球教室では、細山田選手とともに五人が指導にあたり、小学生（午前の部）と中学生（午後の部）にキャッチボールから



早大野球部捕手、母校で野球を指導

細山田武史選手（早稲田大学）による野球教室



各ポジション練習などを丁寧に教えていました。有名選手に野球を教えるという貴重な経験、子どもたちは指導者の一挙手一投足に目を輝かせ、練習に取り組んでいました。



各コートで、白熱の試合展開

チエスト小鶴ドーム杯ワイワイCUPバレーボール大会

十二月十六日、伊集院総合体育館でチエスト小鶴ドーム杯ワイワイCUPバレーボール大会が行われました。市内内外のバレーボールクラブや同好会など二十チームが参加したこの大会は、五チームごとの予選リーグから二チームずつが勝ち上がり、計八チームが決勝トーナメントで決戦。各コートでは白熱した試合が展開され、体育館は応援や歓声が沸きました。



結果は次のとおりです。
優勝 ピーチーズ
優 勝 Viva Viva・わだあず
準優勝 Viva Viva
3 位 KYクラブ
ジョカール

日置市から4人の調査員が大臣表彰等を受賞

平成19年度統計調査功績者表彰

このたび、長年にわたり国指定の各種統計調査において功績が認められ、日置市内在住の四人の方に、平成十九年度統計功績者表彰の伝達が、本庁および支所においてそれぞれ行われました。

十二月十二日、東市来支所で元吉靖郎さんに伝達した県統計課下村課長補佐は、「調査は社会経済の進展と行政施策に欠かすことができない大切なもの。世帯情勢も変化し、ご苦労も多いことと思いますが、今後も引き続きよろしくお願いします」と激励しました。

表彰者と功績概要（平成十九年三月現在）は、次のとおりです。（敬称略）

■ 経済産業大臣表彰
元吉 靖郎（東市来）

昭和五十六年から二十六年間、工業統計調査や商業統計調査など三十一回の調査に尽力され、正確で迅速な調査と住民や事業所からの信頼が評価されました。



■ 総務大臣表彰

有村 美智子（吹上）

平成十六年から三年間、家計調査や住宅・土地統計調査などの調査に尽力され、家計調査という特異な調査でも、誠実で正確な調査が評価されました。

■ 総務大臣表彰

藤園 弘美（東市来）

平成十八年から携わっている労働力調査において、調査内容を十分に理解し、正確な記入と適正かつ円滑な調査が評価されました。

監査事務に携わり15年

総務大臣表彰



▲鮫島 登さん(写真中央)

元監査委員の鮫島登さんが総務大臣表彰を受賞し、十一月五日、市役所で伝達式が行われました。

鮫島さんは、昭和六十三年から平成十五年にわたり、東市来町監査委員として監査事務に精励し、公正で公平な行政運営の指導を通して町の振興発展と住民福祉の増進に貢献した功績が認められ、今回の表彰を受けられました。

地域に密着した活動で表彰

日本PTA全国協議会表彰

扇尾小学校PTA（日吉）が、日本PTA全国協議会表彰を受けられました。

小規模校の特色を活かし、PTAと学校、校区公民館が一体となった地域に密着した特色ある活動を積極的に展開しながら、子どもたちの健全育成に努めている功績が認められたものです。昨年十一月二十一日に、東京で授賞式が行われました。



駅伝の部で日置市消防本部が優勝！

九州消防駅伝大会・消防駅伝 in くまもと

九州消防駅伝大会・消防駅伝 in くまもと2007が、十一月二十四日、熊本県民総合運動公園で行われました。

大会には九州各県から六十三チームが出場。日置市消防本部が駅伝の部で七年ぶりの優勝を飾りました。

レースは、一区有馬拓美さんが七位でタスキをつなぎ、二区中渡瀬裕樹さんが三位に順位を上げ、三区小園勇作さんが区間

賞の走りでもトップに浮上すると、四区早瀬道正さんが無難につき、五区徳重祐児さんも区間賞の走り、二位に約一分のリードを広げゴールしました。

柿内和浩監督は、「選手たちが二月の県下一周駅伝で活躍してくれること、近い将来、全国制覇も視野に努力し、日置市をアピールしたい」と意気込んでいます。

「心と心の交流」で10周年

マレーシアから親善大使が訪問

十二月十日から六日間、五人のマレーシア親善大使が来訪し、ホームステイや各種体験などで、市民との交流を深めました。

マレーシアとの国際交流は、旧吹上町からいも交流から根付いたもので、吹上町マレーシア交流実行委員会（下園聖子会長・会員四十八人）が中心となつて、文化紹介や研修生受入など多彩な活動を展開しています。親善大使の受入もそのひとつ。今回訪問したのは、日本に国費留学した元留学生組織アレプス（ALEPS）のザバ会長やマ



▲歓迎交流会で記念撮影

レーシア吹上友好協会（MFFA）のズキフリ会長のほか、学生三人。常夏の国マレーシアにはない冬を選んでの訪問。五人は期間中、会員宅にホームステイし、慣れない食事や習慣にも積極的に挑戦しました。

学生にとつて、初めての日本が日置市です。寒さに震えながら、ソバ打ちやミカン狩り、イチゴ狩りを体験し、クリーンリサイクルセンターでは再資源化の重要性を熱心に学びました。初めて湯船にも浸かりました。



▲山神の郷公園でソバ打ちに挑む学生



▲市長を表敬訪問

永吉地区公民館で行われた歓迎交流会には、市民など九十人余が参加。日本舞踊やマレーシアダンスなど、相互の文化が披露されました。親善大使はマレーシアダンスに大勢の市民が参加する様子に「私たちの国を好きになってくれてありがとう」と喜んでいました。

同国との交流が始まったのは平成九年。吹上町マレーシア交流実行委員会も同時に発足しており、交流事業も団体の活動も十年の節目を迎えました。同実行委員会の下園会長、ALEPSザバ会長、MFFAズキフリ会長は異口同音に「十年を振り返り、二十年、三十年後を語り、心と心、人と人の交流をずっと続けていきたいと思います」と誓い合いました。

家族のために飲んだら乗るな

吹上父母会が飲酒運転撲滅啓発

「年末年始の忘新年会シーズンに飲酒運転の撲滅を」と十二月二十一日、交通安全街頭啓発運動が行われました。



運動は毎年この時期に、吹上地域交通安全母の会が取り組んでいるもの。例年、国道沿いで実施していましたが、今回は飲酒運転撲滅に絞り、Aコープ伊作店とタイヘイ吹上店の駐車場でを行いました。

同会では運動に先立ち、夫婦折鶴をあしらった交通安全お守りを、願いを込めながら百個余り手作り。

会員はお守りを、啓発チラシや反射材、乳酸菌飲料と一緒に配布し「お父さんに飲んだら乗らんごといってね」と訴えました。受け取った主婦は「家族のためですよね」といいながら、早速、車窓にお守りを取り付けていました。

駅周辺清掃活動に感謝！

鉄道OB会 東市来分会

十二月八日、JR東市来駅、湯之元駅で鉄道OB会東市来分会（大迫東雄会長、会員七十九人）の会員約二十人が、清掃ボランティア活動を行いました。長年続いているこの活動は、毎年十二月上旬に一回、駅周辺のゴミ拾いや草払いを行ないます。本当にありがとうございます。



交通安全キャンペーン

日吉地域交通安全母の会



年末年始交通事故防止運動・飲酒運転根絶運動キャンペーンが12月21日、日吉駐在所前で行われました。車やバイクの運転者に注意を呼びかけ安全をお願いしました。

交通安全母の会表彰

鹿児島県交通安全母の会連合会



平成19年全交母会長表彰式が12月6日、東京歌舞伎座で行われ、諏訪免順子さん（日吉地域）が全国表彰を受けました。この表彰は、母親を中心とした女性ボランティアで指導的立場にあり、活動歴10年以上の個人・団体等を対象としています。

歴史をたどる峠道

伊作峠に島津いろは灯籠を設置



鹿兒島県木のあふれる街づくり事業の支援を受け、三十基を設置しました。

参加した二十人の会員は「鹿兒島市から日置市への南の玄関としてイメージアップを図りたい」と懸命に汗を流しました。

非行の未然防止を

社会を明るくする運動啓発活動

吹上地域更生保護女性会が十二月七日、吹上中学校を訪れ生徒代表に「社会を明るくする運動」への理解と協力を呼びかけました。この訪問は「親が子を、子が親を手にかけるという痛ましい事件を少しでもなくしたい」と同会が実施したものです。社会を明るくする運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪のない明るい社会を築

こうとする全国的な運動。訪れた同会役員は、運動の趣旨が記された消しゴムとポケットティッシュを、下野生徒会長ら生徒会役員に贈り「生徒全員にお配りいただいて、非行のない地域づくりに協力してください」と訴えました。また、同会は今年も、事業所などの協力を得て歳末助け合い活動を行い、更生施設などにタオルや石鹸などを贈りました。

古くから伊作街道として知られる県道二二号線沿いに十二月八日、木製の歌碑が設置されました。直径三十センチほどの杉木の歌碑には、島津日新公が詠んだ「日新公いろは歌」が記され、上部には蓄光材で作られた島津家の家紋が浮かび上がるため、「島津いろは灯籠」と名付けられました。



競技者や愛好家 師走の伊集院を駆ける



梅マラソン
ジョギング大会

- 十二月九日、第二十五回いじゅういん梅マラソンジョギング大会が伊集院総合運動公園陸上競技場で開催され、大会には市内内外から二千五百五人が参加。競技者や愛好家がそれぞれマイペースでさわやかな汗を流しました。
- また、今年はKTS鹿児島テレビアウンサーの武田みどりさんが司会進行。武田さんは参加者とともに2キロコース（小学生B女子）に出場するなど大会を盛り上げていただきました。
- 梅マラソン市内参加者の上位入賞者は次のとおりです。（敬称略三位まで）
- ◇2キロ
 - 小学生A(4年生以下男子)の部
 - 1位 木山 翔太郎
 - 2位 西原口 嶺
 - 3位 飯塚 友哉
 - 小学生A(4年生以下女子)の部
 - 1位 松元 唯依
 - 2位 森 わかな
 - 3位 今田 聖奈
 - 小学生B(5・6年生男子)の部
 - 3位 山内 勇人
 - 小学生B(5・6年生女子)の部
 - 2位 木山 志葉
 - 一般女子の部
 - 2位 入木田 奈穂美
 - ファミリーの部
 - 1位 大倉野ファミリー
 - 2位 内門ファミリー
 - ◇3キロ
 - 中学生女子の部
 - 2位 今村 萌
 - 一般男子の部
 - 1位 木場 慎二
 - ◇4キロ
 - 中学生男子の部
 - 1位 有村 優樹
 - 2位 内 和也
 - 3位 大迫 寛和
 - ◇5キロ
 - 高校生男子の部
 - 3位 岩崎 弘樹
 - 高校生女子の部
 - 1位 西別府 光彩
 - 2位 村場 穂奈美
 - 3位 村場 穂奈美
 - 59歳以下男子の部
 - 1位 山口 二三子
 - 59歳以下女子の部
 - 1位 柿内 和浩
 - 10キロ
 - レサーの部
 - 1位 徳重 祐晃
 - 2位 小園 勇作
 - 3位 富迫 俊佑
 - 高校生男子の部
 - 1位 下野 青海
 - 2位 早馬 仁
 - 3位 中渡瀬 裕樹
 - 60歳以上男子の部
 - 2位 伊藤 昭喜

伊集院を まるごと楽しんで

十二月八・九日の二日間、梅マラソンと同時にまるごと伊集院フェスティバルも開催されました。農業や商工業などの各種産業にかかわる人やまちづくり団体などが一堂に集まり、地域の魅力を伝えようと始まったこのイベントは今年で十三回目。会場にずらりと並んだ農産物や加工品などの特産品販売コーナーには朝早くからたくさんのお客でにぎわい、一万人に振舞われる恒例の伊集院鍋も大盛況。最後は大抽選会も行われ、会場は多くの人でにぎわい、終始盛り上がりを見せました。



まるごと
伊集院フェスティバル



一人二役中區祭り
中區自治公民館

であい、ふれあい、学びあいをテーマに12月2日、中區集落センター（日吉）で、第11回中區祭りが行われました。祭りでは、地域の方が精一杯作った野菜の品評会が行われ、うどん、カレー、中區名物の「森護川だんご」（芋と黒砂糖が入ったもの）など出店があり、たくさんの人でにぎわいました。

伝統行事にさらなる活気

妙見神社相撲大会

妙見神社相撲大会が十一月二十五日、同神社境内で行われました。この相撲大会は、同神社の奉納行事として行われていました。過疎化で一時途絶えていたものを平成四年、中之里地域（吹上）の有志が復活させています。大会を盛り上げようと、スポーツ少年団はそれぞれの大会出場を見合わせ相撲への参加を促し、PTAは資源回収の日程を変更するなど、地域を挙げて支



地域産業祭！はすみましたよ
北區産業祭・南區祭り

好天に恵まれた12月23日、日吉の北區産業祭と南區祭りが各地区で行われました。祭りでは、地域の方々が丹精こめて育てた野菜の品評会や豚汁・うどん・綿あめの販売、もちつきなどが行われ、終日多くの人でにぎわっていました。



募金を寄付

十二月八・九日の「まるごと伊集院フェスティバル」で募金活動が行われ、二日間で七万二千七百一十円の善意が寄せられました。

十二月二十八日、末永義弘実行委員長が協同募金会日置市支会伊集院分会長の藤松勘さんへ募金を手渡しました。

この募金は、歳末たすけあい募金に寄付されました。



子どもたちが体験 不思議な科学の世界

青少年のための科学の祭典
日置大会

十二月二十二日・二十三日の両日、市中央公民館と伊集院文化会館で「青少年のための科学の祭典鹿兒島日置大会」(文部科学省など同実行委員会主催)が開催され、会場には、市内外から家族連れなど約四千人が訪れました。

会場内には県内の理科教諭や企業などが設置する約五十のブース。子どもたちはペットボトルを使った顕微鏡やダンボール箱で作った空気砲などの身近なものを使った実験から、液体ちっ素の実験やロボットの展示など、さまざまな科学実験を体験していました。

また、屋外では気圧でドラム缶をつぶす実験が行われ、水で冷やしていくドラム缶が「ドン」と音を立てて一気につぶれる迫力の実験に、見物客から歓声が上がっていました。



33年目の節目を迎えて

北山の七日講(ソバ講)

十二月二日、東市来町養母の鹿王(しかおう)神社で、「北山の七日講」がありました。

北山自治会には、元々十一月七日(命日)、現在では、十二月七日に「七日講」と言われる供養行事があり、「ソバ講」とも言われています。

由来は、昔、あらぬ事実により斬られた奥方の命日を弔うための行事で、奥方は、斬られる際、「白い血が出たら私は無実です」と言い残し、白い血を流した。その「白い血」にちなんで、カタゴシキ(二回蒸すのを一回蒸した米)で行われていたが、その後餅になり、今ではそばになっていきます。

近年は、当番の方々だけで行なっていますが、今年、三十年目の節目であり、自治会挙げての供養で、日曜日に引き寄せ、神事とそば等の昼食会が行なわれました。



イギリスの家庭料理に舌鼓

第三回世界料理講座



十一月十七日、東市来文化交流センターで第二回目となる「世界味の旅」が開催され、講座生十二人が参加しました。

今回はイギリスのウェールズ出身で東市来地域A.L.Tのキンバリー・ヒューズさんを講師に招き、牛の煮込みにマッシュポテトをのせオーブンで焼くコックテージパイとウエルシユケキを調理。

試食会では参加者から「イギリス料理のイメージが変わった」「キンバリーさんのパワーに元気をもらった」などの声が聞かれ、体も心も温かくなった料理講座となりました。

「近くて近い国」韓国を体験

韓国文化体験交流の旅

昨年十月十九日から二十一日までの三日間、韓国文化体験交流の旅に市民十九人が参加し、韓国を訪問しました。

これは、市の国際交流事業の一環で、平成十年の薩摩焼四百年祭を機に韓国文化に対する理解と人々との交流を深めるために実施されているもの。

参加者は、文化財の宝庫で韓国の歴史の流れが把握できる国立中央博物館、ドラマ「チャングムの誓い」で知られる世界文



▲華やかな宮廷生活がしのばれる昌徳宮



▲交流会の様子



▲伝統的な結婚式の様子

化遺産の昌徳宮や宮廷料理が味わえる宮宴などを訪れ、文化と歴史の壮大さに感動を覚えました。

また、伝統家屋の趣を堪能できる南山韓屋村では、韓国の伝統的な結婚式に遭遇。古い建物に囲まれ、きらびやかな韓服に身を包んで厳かに行われた式の雰囲気は、まるでタイムマシーンに乗って過去の世界に迷い込んだよう。貴重な体験をしました。

ホームステイの受入、幹旋をしている韓国の団体ユニリンクを通じて行われた交流会では、十四人

もの現地の人々に迎え入れられ、メディアなどで見聞きしている情報でなく、お互いの国に関する思いや考えを実際に聞くことができました。参加者が伝統民謡アリアンを韓国語で披露すれば、世界にひとつだけの花をお返しに歌ってくれました。楽しい時間は短く、あっという間に過ぎた交流会。予定時刻を大幅に過ぎ終了した後も名残を惜しみながら別れるほど。そこには「近くて遠い国」と呼ばれる様子は全くありません。参加者の竹之下恭子さんは「日本と似たような文化圏で親しみを感じ、言葉があまり通じなくても気持ちを通じた」と話していました。

三日間の日程を終えた参加者は、入りきらないほどのお土産と思いついてお土産と胸いっぱい詰めて帰路につきました。

会場を包み込む音楽に陶酔

市ジュニアオーケストラ定期演奏会



第十五回市ジュニアオーケストラ定期演奏会が十二月十六日、伊集院文化会館で行われました。四部で構成された演奏会に今年にはハワイアン・エコーズが賛助出演。フラダンスと共演する音楽が演奏会に華を添えました。

当日、会場には子どもから大人までたくさんの観客が訪れ、会場を包み込むような素晴らしい演奏に皆聞き入っているようでした。

昔ながらの門松づくりを体験

郡上子ども会育成会



十二月十六日、郡上子ども会(伊集院)の子どもたちが門松づくりを行いました。

これは、子どもたちが地域の中で交流し、昔ながらの門松づくりを体験してもらおうと育成会が企画した初めての取り組み。

当日、子どもたちは地域の大人に教わりながら育成会七世帯分十四個の門松を制作。初めての体験に、楽しみながら取り組んでいました。



自ら挑む！脱メタボ

男性の食育料理教室

最近、よく耳にするメタボリックシンドローム。お腹周りが気になりながらも、なかなか変えられない食生活を、男性自らが参加して変えようと十二月一日、男性の食育料理教室が吹上中央公民館でありました。男性にも食の重要性を理解を深めてもらい、日常生活で生かしてもらおうと、吹上地域食生活改善推進員会が企画したもので、教室には中高年男性十三人が参加。台所初心者から主夫級ま

で、さまざまな腕前が調理台を囲みました。メニューは豚の生姜焼きやキンピラゴボウ、味噌汁など五品に挑戦。米の研ぎ方から包丁さばきのほか、食材の栄養組成までを推進員に学びながら調理しました。過程はともかく、出来上がりは上々。苦勞して作った料理について「箸が進み「メタボ予防のはずが食べ過ぎた」「でもカロリー控え目だから大丈夫」。



おいしい給食、楽しみでーす

日置小おたのしみ給食会

十二月十四日、日置小学校（日吉）体育館でおたのしみ給食会が行われ、全校児童と園児、先生方が参加しました。これは、日ごろの給食で栄養を考えてくださる給食調理員への感謝の気持ちを込めて催されたもの。当日は、児童代表から給食調理員へ感謝のプレゼントが手渡された後、給食会が行われました。献立は児童のリクエストでチャーハン、から揚げ、卵焼き、シューマイ、野菜スープなど。児童らは大勢で楽しく食べる給食会で、「食」のありがたさを感じているようでした。

図書券贈呈

日吉地域各種女性団体



十二月四日、日吉地域各種女性団体代表の諏訪免会長（写真左から二人目）から日吉中学校へ図書券が贈呈されました。これは、各種女性団体のバザーの収益金の一部を図書券として日吉地域幼・小・中学校に贈呈しているもので、平成九年から始まり今年で十年目。この図書券には、多くの本に親しんでほしいという各種女性団体の願いが込められています。



サンタが6人もやってきた

吹上ライオンズクラブ保育所訪問

吹上中央幼稚園運動場に十二月二十五日、突然六人のサンタクロースが登場し、中央保育園や中央幼稚園の園児にクリスマスプレゼントを贈りました。サンタに扮（ふん）したのは吹上ライオンズクラブ（重田正信会長・会員二十九人）の会員。訪問は、同クラブの青少年健全育成活動の一環で、平成十七年から取り組んでおり、今年で三回目です。

トナカイのソリならぬ、ポニーの馬車で現れると「サンタだ、サンタが来てくれた」と園児は騒然。一緒に記念撮影をしたり、馬車にも乗せてもらったり、満面の笑みを浮かべました。園児のもうひとつのお目当ては、サンタの背負った大きな荷物。サンタとのジャンケンに勝った順に絵本など手渡されると、元気な声で「サンタさん、ありがとう」と受け取っていました。

お正月の伝統文化に挑戦

伊作田小・高山地区門松づくり体験



十二月十四日に伊作田小学校（東市来）六年生の生徒十九人が、十六日には高山地区で参加者十四人が門松づくりを行いました。伊作田小では、PTAで準備していた竹や飾りなどを使って、

寒空にも関わらず生徒は元気一杯に取り掛かりましたが、慣れない作業で悪戦苦闘し、ようやく完成。立派な門松が正門を飾りました。三蘭菜生（まう）さんは「初めて作った。竹を巻くのが難しかったけど、きれいにできてよかった」と話していました。

高山地区公民館で行われた門松づくりは空き缶を利用したもので大きさもお手軽サイズ。参加者は手際よく思い思いの飾り付けで、新年を迎える準備を楽しんでいました。家族で参加した中堂園和也さんは「新築の記念に初めて作りました。思ったより簡単でした」と話していました。



何事も前向きに意欲的に

市高齢者クラブ芸能大会

第二回日置市高齢者クラブ連合会芸能大会が十二月一日、吹上中央公民館ホールで開催されました。

華やかな衣装で登場するたびに、会場は割れんばかりの拍手に包まれ、なじみの民謡では口ずさみ、思わず立ち上がって踊

りだす人も。「何事も前向きに意欲的に取り組みましょう」。市高連の東西会長のあいさつどおり、全員が参加して喜び合える充実した芸能大会になりました。



思わぬ訪問に笑顔ほころぶ

和田小児童が施設を慰問

和田小学校（吹上）児童二十七人が十一月二十七日、特別養護老人ホーム喜楽茶村を慰問しました。

職員から車イスなどの説明を受け、施設内を視察。入口やトイレなど、自宅との違いを学び、浴場では入浴介助機器を体験しました。

児童は、学校農園で収穫したもち米一俵を持参。施設入所者やデイサービス利用者の前で、花笠音頭などを披露しました。

交流では「不自由な場所は目や耳、足などさまざま。たくさんのお年寄りと触れ合ってください」。職員にそう促され、手づくりのプレゼントを手渡したり、肩をたたいたり。利用者は、思わぬ孫たちの訪問に、顔をほころばせながら、手を握っていました。「私も和田出身よ。しっかり勉強して」と、学校の先輩に励まされる場面もありました。

市高連の芸能大会は、演じる人も観る人も芸能を通じて生きがいをもっと、昨年同様開催されています。演目は各地域より抜きの芸能が目白押し。民舞や洋舞、マジックなど、多彩な芸能を見ようと、会場は立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。



みんなですすめよう!「元気な市民づくり運動」

健康づくり教室紹介

日置市国保ヘルスアップ教室「脱!メタボ教室」

スペシャル編

今年の7月から12月の6カ月間にかけて日置市国保ヘルスアップ教室「脱!メタボ教室」が行われました。これは平成20年度から行われる医療制度改革において特定健診特定保健指導が始まる事に先駆けて行われた教室です。平成18年度の基本健診や人間ドック結果をもとにメタボリックシンドローム予防のため市民50人(男性26人・女性24人)が参加されました。メタボリックシンドロームを脱出することは、心臓病や脳血管疾患などの病気を予防し元気に歳をとることに繋がります。

教室では県民総合保健センターの協力のもと、全体会・個別面接・栄養運動教室を重ね、参加者は自分の生活スタイルに合わせた健康づくりを行いました。教室終了時には全員で「腹囲162.3cmの減」「体重89.7kgの減」の成果が得られ、また、家族の健康に繋がったり、体重は減らなかったが自分の生活パターンを知る機会になったりと様々な効果がありました。教室最終日には参加者の体験発表や下記の方々の表彰、「これからの未来」を描く時間が設けられました。参加者にとって、教室はひとつのきっかけ。終了後からが「はじまり」です。

【6カ月間の成果表彰】

内容	成果	氏名(地域)
1日歩数〔1位〕	19,014歩/日	能勢 幸雄(吹上)
体重が減りました〔1位〕	6.8kg減	野村 絹子(伊集院)
腹囲が減りました〔1位〕	12.5cm	有馬美枝子(吹上)
中性脂肪・血糖値が減りました〔1位〕		上園 哲生(吹上)

～平松さんの体験談から～

江口浜荘近くに「峠そば」を営んでいる平松光子さん。10年程前から膝を痛み、歩くのもやっとかっとなりましたが、3年前から水中運動〔B & G〕を続け、少しずつ膝の調子は良くなっていました。

最初の目標を『3カ月で3kg減らす』にして、1日30分のウォーキングと10分の全身運動を続けました。水中運動(週1回)も続け、栄養教室の内容も自然に生活に取り入れることが出来ました。8月からは『1日1万歩』を目指しました。はじめ体重が減らず落ち込む時もありましたが、6カ月で体重7kg減、腹回り7cm減、血糖値115→90mg/dl、中性脂肪205→129mg/dlと脱メタボを達成出来、とてもうれしいです。これも家族の大きな支えがあったから。今後は教室で学んだ事を地域みなさんに広げていきたい。膝の痛みも解消したので近い将来、夫の退職祝いに行くはずだった『万里の長城』に自分の足でしっかりと立ちたいです。



▲全体会



▲個別面接



▲運動教室

◆ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意しましょう◆

ノロウイルスは例年11月から3月にかけて流行し、感染すると胃腸炎を起こします。主症状は、吐き気、嘔吐、下痢、発熱で、人から人へ感染する場合と食品から感染する場合があります。《感染予防のポイント》

- ☆ 最も有効な対策は手洗いです。トイレを使用した後や調理の前、食事の前には必ず石鹸で十分手洗いをしましょう。また、患者の吐づつやふん便に直接触れたときにも石鹸で手洗いをしましょう。
- ☆ 患者のふん便(おむつ交換)や吐づつを処理するときには、部屋の換気を行いましょう。カキなどの二枚貝は、中心部まで十分に加熱してから食べましょう。(湯通し程度の加熱ではウイルスは死滅しません。食品の中心温度85℃以上で1分間以上の加熱が必要です)



このコーナーに掲載を希望されない方は手続きのときに、お申し出ください。

伊集院地域 (出生児) (保護者) (自治会)

12月受付分(敬称略)

杉園 大晃 信二郎 妙円寺五区
 嶽本 快志 洋一 猪鹿倉
 久木崎 瑠香 和哉 妙円寺三区
 東 優亨 正一 徳重東
 宮下 湧介 裕治 四郎園
 中井和歌 浩治 徳重東
 篠原 凛 一郎 徳重東
 田代 大翔 裕次 天神馬場
 窪園 翔和 武志 妙円寺五区
 恵 遥菜 正幸 清藤
 飛松 陽太 源樹 猪鹿倉

伊集院地域 (故人) (享年) (自治会)

12月受付分(敬称略)

山口 隆雄 53 妙円寺六区
 榎 映雄 85 中川
 上之園 政雄 98 野田
 坂田 明子 83 大田上
 梅木 昭男 58 中福良
 橋木 敏行 75 下土橋
 池田 良則 77 池田
 宮下フサエ 93 末永
 柿内 芳仁 76 猪鹿倉
 重留シヅ子 75 桑畑
 福森 キク 98 つじヶ丘一・三区
 兼本 清二 56 妙円寺七区

吹上地域 (出生児) (保護者) (自治会)

12月受付分(敬称略)

山口 諒真 真一郎 上田尻
 胸元孝太郎 裕二 新川原
 四元 敬也 明嗣 南湯之元

吹上地域 (故人) (享年) (自治会)

12月受付分(敬称略)

小重 忠男 75 向湯田
 松下 篤子 92 南神之川
 児玉ヨシノ 92 美山下
 新川喜久雄 49 丸牧
 草道キクエ 83 赤崎

日吉地域 (出生児) (保護者) (自治会)

12月受付分(敬称略)

北原 重徳 74 日新
 野崎 三郎 91 八幡
 徳永ハナエ 78 諏訪
 勝田 益男 66 八幡
 鶴狩 親義 97 青松園
 小園 春己 85 南区

吹上地域 (故人) (享年) (自治会)

12月受付分(敬称略)

岩元 トミ 80 下草田
 久保アツエ 88 南湯之元
 大坪 才藏 86 下与倉
 馬場トシ子 89 上中之里
 北野 亨 80 入来
 下野 ヒデ 94 助代

東市来地域 (出生児) (保護者) (自治会)

12月受付分(敬称略)

吉田 悠人 昌悟 柿之迫
 窪田 人成 竜介 坂之下
 丸田 千陽 忠明 田之湯
 橋上 新平 祥平 川北
 藤田 凜 辰則 堀内
 日吉地域 (出生児) (保護者) (自治会)
 木村 友香 雅隆 日新

東市来地域 (故人) (享年) (自治会)

12月受付分(敬称略)

新川 正 89 皆田西
 河野フサエ 79 尾木場
 脇田 在清 81 下養母
 横手 正 82 元養母
 西峯 テル 89 下養母
 米丸 ミネ 96 秋光園
 恒吉ミヨ子 75 萩

※訂正とお詫言
 広報ひおき 12月号の記事中に誤りがありました。次のおとり訂正してお詫言します。(敬称略)
 P12「まちの話題・伊作流鎗馬奉納」
 □柔道(個人)
 枝元 僚佑
 枝元 僚佑
 P23「まちの文化財」12行目
 誤 敗れました(1987)
 正 敗れました(1987)

甘いイチゴができました

イチゴ収穫祭

十一月二十六日、東市来いちご部会のイチゴ収穫祭が東市来養母の小園農園で行われました。収穫祭には生産者を始め農協、ゆのもと保育所の園児、農政関係者、報道機関が出席。



係者、報道機関が出席。ここ数年、炭疽(たんそ)病の被害で苗の確保に悩まされましたが、今年は施設の整備や苗の管理を徹底し、昨年に比べ被害を減少させました。同部会長の坂口さんは「今年度は部会全員がエコファーマーとして認定されました。今後は安全・安心なイチゴを消費者に届けていきたい」と話していました。甘い香りの漂うハウスの中で園児たちが真っ赤に色づいたイチゴを思い思いに摘み取り、赤く色づいたイチゴで乾杯し収穫を祝いました。

楽しいクリスマス会

日置小学校附属幼稚園

十二月十九日、日置小学校附属幼稚園で親子のクリスマス会がありました。午前中は親子でケーキ作り、午後からはキャンドルサービスや出し物があり、お母さん方の見事な変身ぶりに園児らは大喜びでした。





ギャラリー 私の作品展

本寺 重光さん(71歳) [吹上町湯之浦]

定年後、会社のOBが集う生涯学習活動をきっかけに始めた陶芸は、作品を窯から取り出す瞬間が楽しく、十数年続けています。4月から開講された公民館講座「陶芸教室」でも講師の世話を引き受けています。「教室にはろくろがないため、手びねりやタタラ作り、ひも作りなどの基本を教えています。開講したばかりの教室ですが、講座生には、窯元に行つて多くの作品を見て、文化祭などに展示する作品を作ることを指導しています。来年度は自分の作陶だけでなく、講座生の技術向上も視野に活動したいですね」



ウォッチまちな文化財 32

おおた はつでんしょ 太田発電所本館 (伊集院地域)

国の文化審議会は、伊集院地域大田地区の神之川沿いに建つ太田発電所本館を、国の登録有形文化財として登録するよう、平成19年12月7日に答申しました。明治に島津家が造った発電所であること、造形に特徴があることなどが評価されました。日置市では旧黒木回春堂医院に続く2例目の登録有形文化財になります。

大田発電所本館は明治41年(1908)に、島津家によって建設されました。幕末に行なわれた集成館事業の流れをくんで造られたとされています。広さは15m×12m、高さは10mの石造り平屋の水力発電所です。壁面には島津家の家紋「くつわ紋」が刻まれ、8角形の塔がついた特徴のある造りです。現在は表面部分のほとんどが補修塗装されています。

建設当初は串木野にあった島津家所有の神岡鉦山に電気を送っていました。昭和3年に島津家の所有を離れ、昭和26年からは九州電力が引き継ぎました。現在でも稼働し、周辺に電気を供給しています。

〈引用参考文献〉
『鹿児島県の近代化遺産』鹿児島県教育委員会
『国土交通省九州地方整備局ホームページ』



Access

本庁から車で15分



わたしのしょう来の夢は、理学療法士です。わたしが初めて理学療法士という仕事を知ったのは、二年前、足



わたしの夢

を骨折して入院した時のことです。わたしは、痛みだけではなく、一人て病室にいななければならぬこともあり、とてもさびしい思いをしていました。そんな時、理学療法士の方が、リハビリのお手伝いだけでなく、いろいろな気を使ってくれて優しく言葉をかけてくださったり、わたしを笑わせてくれたりしました。おかげでわたしは、入院生活がつかつかたけど、少しずつ明るい気持ちになれました。その時、わたしは、「こんな人になりたい」と思ったのです。すこぶきつそうで、大変な仕事だとは思いますが、でもいつも患者さんのためにはたらく姿を見てわたしは、とてもいい仕事だなあと思いました。今から生けん命がなはつてこの仕事につけるようにがんばりたいと思います。

扇尾小学校六年

岩井田

光梨さん

シリーズ32

いきいき

ひと



「日吉に住むようになり、工房での創作活動や自宅の畑で野菜づくりをしなから一日一日をゆつくり過ごしています。近所の人から野菜づくりを教わり、地域のひとと一緒に仕事をする中で、次第に仲間も増えてきました。これから地域のひととの輪を広げ、楽しみながら『第二の人生』を過ごしていきたいですね」

一方、日吉は工房で創作活動にいきいきと暮らす玉利さん。昨年十一月には、工房横に待望のギャラリーを併設。作品を展示販売できるスペースができたほか、今年二月からは「ツールペイント絵画教室」も開講する予定です。

「日吉に住むようになり、工房での創作活動や自宅の畑で野菜づくりをしなから一日一日をゆつくり過ごしています。近所の人から野菜づくりを教わり、地域のひとと一緒に仕事をする中で、次第に仲間も増えてきました。これから地域のひととの輪を広げ、楽しみながら『第二の人生』を過ごしていきたいですね」

農作業用の実用新案権を取得



たまり 玉利 正さん(69歳)

日吉町日置(諏訪自治会)

●手描きアート「筆工房」
「連結ロープ付両手熊手」を日本国特許庁実用新案権に登録



山下 颯太くん(4歳6か月)
廉翔くん(1歳11か月)

父 勝博さん 母 美鈴さん
(伊集院町妙円寺)

■おとうさん・おかあさんから

おしゃべりや歌が上手になって、まねっこが楽しい廉翔。幼稚園で覚えた木登りや制作に夢中の颯太。何でも一緒に遊ぶ二人は良きライバルです。



北山 晴士くん(4歳6か月)
佳恵ちゃん(8か月)

父 哲也さん 母 紀子さん
(伊集院町妙円寺)

■おかあさんから

元気で健やかに育ってほしいです。はるかんと、かえちゃんの面倒をよくみてくれて助かります。いつまでも仲良くしてください。

元気のあるお子さんの写真を募集しています。

市内に在住の6歳以下のお子さん
①氏名②生年月日③保護者氏名④お子さんの近況(お子さんへのコメント)
⑤広報へのご意見⑥連絡先を添えて、市役所総務企画部企画課(住所は未定)までお送りください。



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)

総人口 52,490人(△5)
男 24,510人(△3)
女 27,980人(△2)
世帯数 22,388 (14)
1月1日現在()は前月比

市の面積 253.06km²

今月の表紙



無病息災祈願!!

1月5日朝行われた、東市来地域平迫比良自治会の鬼火たきの準備風景。毎年、自治会行事として、子どもからお年寄りまで参加しています。火付けは午後6時から行いました。

(記事については次号で掲載)

No.32 平成20年1月号

発行/日置市役所
総務企画部企画課

〒899-2592
日置市伊集院町郡一丁目100番地

TEL 099 (273) 2111
FAX 099 (273) 3063

東市来支所
TEL 099 (274) 2111

日吉支所
TEL 099 (292) 2111

吹上支所
TEL 099 (296) 2111

http://www.city.hioki.kagoshima.jp/



古紙配合率100%再生紙を使用しています

わが地域

熊野自治会
(日吉地域)



日吉地域の北部に位置し、城の下、中原、寺下、榎園、榎園団地、ウツドタウン日吉の六集落で構成される熊野自治会。一月一日現在で二百三十六世帯、五百九十九人が暮らしています。
自治会高齢化率は約二三%。日吉全体と比べても、子どもや働き盛り世代に恵まれた地域ですが、新興住宅ウツドタウン日吉に若者が集中し、その他の集落は依然高齢化率が高いなど、集落間でも大きな格差があります。



▲第1回近隣福祉ネットワーク推進会議



▲谷山宏明会長

熊野自治会(日吉地域)
近隣ネットワークでつながる地域の和

日吉地域の中でも若者に恵まれた自治会。しかし、少子高齢化が進む現代、新興住宅を除く自治会内の集落でも少子高齢化が進んできているのが現状。そんな中、自治会では「安心・安全の故郷づくり」を基盤に、地域に住む高齢者や障害者を支援するための広域的なネットワークづくりに力を入れています。
ネットワークを広げるためには、まず、自治会がどんな取り組みをしているか住民に理解してもらうことが大切と、自治会では「熊野自治会だより」を月二回発行。A4カラー印刷の自治会だよりは住民の目にとまるよう配慮し、住民に自治会の活動や取り組みなどをお知らせしています。
また、自治会では近隣福祉ネットワーク推進会議を開催。自治会役員や各集落長、民生委



▲「えのきぞの元気サロン」立ち上げ

員や保健推進員などが参加して行われる会議では、地域福祉活動の確認や自主防災組織の中の独居者や高齢者の避難対策等について協議しています。
地域福祉活動を強化するため、今年度の推進会議では「いきいきサロン」の設立についても協議。昨年七月、「えのきぞの元気サロン」(榎園)「やすらぎの会」(城の下)も立ち上げられました。
年六回高齢者が集い、調理から会食、レクリエーションをする「ふれあい給食会」。八月二十四日に行われた給食会には夏休み中の子どもたちも参加。食生活改善推進員や婦人会の皆さんに教わりながら、子どもたちが「オムレット」や「茶巾しぼり」(デザート)などを調理。最後には、子どもから高齢者までにぎやかに会食し、レクリエーションも大いに盛り上がりました。
今後は、現行の「いきいきサロン」や「ふれあい給食会」の推進、「ネットワーク推進会議」をどのように補完させていけばよいか大きな課題。また、子どもの健全育成に対する取り組みや働き盛り世代の健康維持についても、自治会の機能を生かして取り組むべき問題となっています。「共生・協働」の地域づくりを目指すためにも、まずは自治会活動を住民にしっかりと理解されるよう取り組むことが大切だと思います。



▲子どもたちとの「ふれあい給食会」